

平成20年度

観光文化局予算要求方針

- 目 次 -

- 1 平成20年度観光文化局予算要求総括表 1
- 2 20年度予算要求にあたっての基本的考え方 2
- 3 予算要求の重点事項 3
 - (1) 子どもを生み育てやすく、健やかにはぐくむ街
 - (2) 高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街
 - (3) 安全・安心で、人と環境にやさしい街
 - (4) 文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街
- 4 事務事業の見直し等 15
 - (1) 事務事業の見直し

1 平成20年度観光文化局予算要求総括表

【一般会計】

(単位：百万円)

区 分	平成19年度 予 算 額 A	平成20年度 要 求 額 B	増 減 額 B - A	増減率 (B - A) / A
観光部	6 1 4 (5 0 3)	6 4 7 (5 2 1)	3 2 (1 8)	5 . 2 % (3 . 5 %)
文化部	2 , 7 5 3 (2 , 3 4 7)	2 , 9 9 2 (2 , 4 8 1)	2 3 9 (1 3 4)	8 . 7 % (5 . 7 %)
スポーツ部	4 , 0 0 7 (2 , 8 6 5)	3 , 8 1 4 (2 , 6 7 0)	1 9 3 (1 9 5)	4 . 8 % (6 . 8 %)
合 計	7 , 3 7 4 (5 , 7 1 5)	7 , 4 5 2 (5 , 6 7 2)	7 8 (4 3)	1 . 1 % (0 . 8 %)

()内は一般財源額

この資料中の金額は、各計数ごとの四捨五入で表示しています。したがって、内訳と累計値とは一致しない場合があります。

2 20年度予算要求にあたっての基本的考え方

1 文化芸術、スポーツを通じた魅力あるまちづくりの推進

市民が文化芸術やスポーツを身近に感じ、気軽に楽しむことができる環境を整えることにより、創造性豊かで活力のある札幌の文化の創造、発展を促し、この街に住むことに誇りを持てるような魅力あるまちづくりを進める。

2 集客交流の促進

札幌が持つ豊かな自然、四季折々の祭りやイベントに加えて、文化芸術、スポーツなどのハード及びソフトの資産を集客交流資源として積極的に活用することにより、国内外の多くの人たちが交流し、活気あふれる「集客交流都市さっぽろ」を実現させる。

3 予算要求の重点事項

(1) 子どもを生き育てやすく、健やかにはぐくむ街

文化芸術体験を通して、子どもたちの個性や能力を伸ばし、豊かな感性や自ら考える力をはぐくむための取組を推進する。

1 未来を担う子どもが健やかに育つ環境の充実

301百万円(141百万円)

注:()内は19年度予算額

ア 子どもの美術体験事業(文化部) 6百万円【新規】

次代を担う子どもたちに、さまざまなアプローチにより美術を体験してもらうために、小学校へのアーティスト派遣や小学生を美術館に招待する。

【達成目標】

参加児童数(累計) H18: - H22: 3,200人

【20年度効果】

参加児童数(累計) +1,400人(H19: - H20: 1,400人)

イ 子どもの映像制作体験事業費補助(文化部) 2百万円【新規】

芸術の森など札幌の魅力ある場所を撮影舞台に、子どもたちが専門家の指導の下、本格的な映画制作を体験する事業に対して事業費を補助する。

【達成目標】

参加者数(累計) H18: - H22: 50人

【20年度効果】

参加者数(累計) +15人(H19: - H20: 15人)

ウ 佐藤忠良関連施設整備(文化部) 264百万円

芸術の森野外美術館の敷地内に、札幌市ゆかりの彫刻家である佐藤忠良氏の作品を収蔵・展示のうえ子どもが作品に触れ、創作活動をしたり、また、読み聞かせのできる機能を持つ体験型ギャラリーを開設する。

【達成目標】

施設開設 H18： - H20：開設

【20年度効果】

施設開設 (H19： - H20：開設)

エ キタラファーストコンサート事業費補助(文化部) 29百万円

市内の小学6年生全員が札幌コンサートホールKitara(キタラ)で、オーケストラ演奏を鑑賞・体験するプログラムを継続して実施、青少年の音楽普及及び振興を図る本事業に対して事業費を補助する。

【達成目標】

学校の参加率 H18：94.2% H22：95.0%以上

【20年度効果】

学校の参加率 +3.9%(H19：91.1% H20：95.0%)

(2) 高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街

高齢者や障がいのある人が、安全に安心して利用できるよう、所管施設のバリアフリー化などを推進する。

1 障がい者の自立支援の促進

42百万円(0百万円)

注：()内は19年度予算額

ア 芸術の森園路等改修事業(文化部) 38百万円【新規】

開園して20年が経過し、傷みの著しい芸術の森の園路、階段等を改修するとともに、階段の手すり設置等を行う。

【達成目標】

改修工事 H18： - H20：実施

【20年度効果】

改修工事完了

イ 体育施設整備事業（スポーツ部）

3百万円【新規】

バリアフリー化に対応した体育施設とするため、改修の必要性の高い施設について、身体に障がいのある方に対応したエレベータの設置や多目的トイレの改修・設置を行う。

【達成目標】

体育施設のバリアフリー化 H18：3施設 H22：6施設

【20年度効果】

体育施設のバリアフリー化 ±0施設（H19：3施設 H20：3施設）

(3) 安全・安心で、人と環境にやさしい街

良好な都市環境を維持するため、みどりの創出を進めるほか、所管施設の耐震補強の実施により、災害に強いまちづくりを推進する。

1 水とみどりの保全・育成と創出

1百万円（42百万円）

注：（ ）内は19年度予算額

ア 白旗山緑化復元事業（スポーツ部）

1百万円

19年度に、白旗山競技場スキーコースの改修により使用しなくなったコースの緑化復元工事を実施したが、20年度はその経過観察を行う。

【達成目標】

白旗山の緑化 H18： - H22：57,000m²

2 災害に強い安全なまちの整備

6 百万円 (0 百万円)

注 : () 内は19年度予算額

ア 中島体育センター耐震改修事業 (スポーツ部)

6 百万円

「市有建築物耐震緊急5ヵ年計画」に基づき、中島体育センターの耐震補強を実施する。

【達成目標】

耐震性能の強化 H18 : - H20 : 耐震補強実施

【20年度効果】

耐震性能の強化 (H19 : - H20 : 耐震補強実施)

(4) 文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街

都市の魅力を高めるため、文化芸術及びスポーツの振興によるまちづくりを進めるほか、集客交流を推進する。

1 札幌の特色を活かした文化芸術の振興

8 7 9 百万円 (6 6 1 百万円)

注 : () 内は19年度予算額

ア サッポロ・シティ・ジャズ事業 (文化部)

3 0 百万円

札幌独自の都市型ジャズフェスティバルを創造していくために、市内各所でのライブ演奏のほか、海外ジャズフェスティバルとの交流やワークショップなどの教育プログラムを開催し、さっぽろを世界に発信する。

【達成目標】

イベント観客動員数 H18 : 4,000人 H22 : 100,000人

市民ボランティア登録者数 H18 : - H22 : 600人

パークジャズライブ参加者数 H18：65人 H22：3,000人

【20年度効果】

イベント観客動員数 +20.6% (H19：66,312人 H20：80,000人)

市民ボランティア登録者数 ±0人 (H19：250人 H20：250人)

パークジャズライブ参加者数 ±0人 (H19：1,000人 H20：1,000人)

イ パシフィック・ミュージック・フェスティバル事業費補助等(文化庁)

223百万円

世界の3大教育音楽祭として成長を続けているパシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)に対して、事業費の補助等を行う。

【達成目標】

オーディション応募者数 H18：1,348件 H22：1,468件

【20年度効果】

オーディション応募者数 +30件 (H19：1,465件 H20：1,495件)

ウ 札幌交響楽団運営費補助(文化庁)

160百万円

北海道唯一のプロオーケストラである札幌交響楽団に対し、運営費の補助を行う。

【達成目標】

公演への観客数 H18：131,464人 H22：135,000人

【20年度効果】

公演への観客数 +100人 (H19：131,900人 H20：132,000人)

エ さっぽろアートステージ事業(文化庁)

23百万円

11月を文化芸術月間と位置づけ、演劇、音楽、美術などのイベントを複合的・総合的に開催する。

【達成目標】

鑑賞者数 H18：341,898人 H22：360,000人

【20年度効果】

鑑賞者数 +5,000人 (H19：345,000人 H20：350,000人)

オ 公立文化施設活性化推進事業(文化庁)

10百万円

芸術の森野外ステージの客席部分に仮設スタンドを設置し、9~10月の毎週末及び祝日の10日間程度公演を行う。

【達成目標】

週末の施設利用率 H18：57.4% H22：60.0%

【20年度効果】

週末の施設利用率 +2.6% (H19: 57.4% H20: 60.0%)

カ 創成川アートワーク事業 (文化部) 8百万円

創成川アンダーパス連続化事業により生まれる親水緑地空間に、アートの要素を組み込むため、基本計画の策定や委嘱作家による作品制作を行う。

【達成目標】

アートワークの設置 H18: - H22: 設置

キ (仮称) あけぼのアート&コミュニティセンター整備事業 (文化部)

59百万円【新規】

中央区の曙小学校跡施設を活用して文化芸術活動と地域活動の連携を目指した市民レベルの活動拠点を整備する。

【達成目標】

文化芸術団体と地域との交流イベント数 H18: 1回 H22: 4回

ク 文化芸術情報発信事業 (文化部) 15百万円

市民や観光客が文化芸術に触れ、参加するためのきっかけづくりとして、文化情報や観光情報を集約し、分かりやすく情報を提供・発信する「観光文化情報ステーション」を地下鉄大通駅コンコースに設置する。

【達成目標】

来場者数 H18: 12,000人 (37日間) H22: 100,000人 (年間)

ホームページアクセス数 H18: - H22: 200,000件

【20年度効果】

来場者数 +42,000人 (H19: 18,000人 H20: 60,000人)

ホームページアクセス数 +47,000件 (H19: 23,000件 H20: 70,000件)

ケ 文化芸術振興条例に基づく基本計画策定 (文化部) 4百万円

平成19年4月1日に施行された札幌市文化芸術振興条例の趣旨・内容を具体化するための基本計画を策定する。

【達成目標】

札幌市文化芸術基本計画の策定 H18: - H20: 策定

【20年度効果】

札幌市文化芸術基本計画の策定 (H19: - H20: 策定)

コ 文化活動練習会場学校開放事業 (文化部) 1百万円【レベルアップ】

音楽・演劇などの文化活動を行う市内のアマチュアグループや市民などに対して開放する教室数を増やす。

【達成目標】

開放教室数 H18：21教室 H22：24教室

【20年度効果】

開放教室数 +1教室（H19：21教室 H20：22教室）

サ 舞台芸術創作活動支援事業費補助等（文化部） 4百万円

演劇等の舞台芸術に係る創作・発表の活動拠点として、劇団が既存のスペースを借り受けた場合、当該賃借料の一部を補助する。

【達成目標】

補助金申請団体数 H18：11団体 H22：21団体

【20年度効果】

補助金申請団体数 +5団体（H19：20団体 H20：25団体）

シ 佐藤忠良関連施設整備【再掲】（文化部） 264百万円

ス 子どもの美術体験事業【再掲】（文化部） 6百万円【新規】

セ 子どもの映像制作体験事業費補助【再掲】（文化部） 2百万円【新規】

ソ キタラファーストコンサート事業費補助【再掲】（文化部） 29百万円

タ 文化財施設整備事業（文化部） 2百万円

八窓庵等復旧事業（文化部） 16百万円

文化財を良好な状態で保存・活用し後世に継承していくため、適切な維持・管理に努め、計画的な整備・補修などを行う。

【達成目標】

補修工事等実施施設数 H18：1施設 H22：5施設

保全改修計画の策定 H18：3施設 H22：7施設

【20年度効果】

H20は補修工事なし（H19：2施設 H20：2施設）

保全改修計画の策定 +1施設（H19：4施設 H20：5施設）

チ 博物館活動センター展示室整備事業（文化部） 20百万円【新規】

世界最古のサッポロカイギュウなど、さまざまな太古の札幌の姿を解明した大型動物化石総合調査の成果を活用し、市民に分かりやすく発信していくための展示空間を整備する。

【達成目標】

展示室の整備 H18： - H20：整備

【20年度効果】

展示室の整備（H19： - H20：整備完了）

ツ 文化財保存費（文化部） 1百万円

伝統文化などの保存伝承活動を行う団体（丘珠獅子舞保存会、アシリチェップノミ実行委員会）に対して、事業費の補助を行う。

【達成目標】

補助対象活動数 H18：2件 H22：2件

【20年度効果】

補助対象活動数 ±0件（H19：2件 H20：2件）

2 スポーツを楽しむ環境の充実と健康づくりの推進

2 1百万円（1 3百万円）

注：（ ）内は19年度予算額

ア 子ども体力向上事業（スポーツ部） 6百万円

子どもの体力・運動能力低下への対策として、公共施設や学校などの身近な場所での運動教室の実施や運動プログラムの開発等を行う。

【達成目標】

運動教室開講数 H18：2教室 H22：100教室

指導者の養成数（累計） H18：5人 H22：50人

【20年度効果】

運動教室開講数 +38教室（H18：2教室 H20：40教室）

指導者の養成数（累計） +15人（H19：5人 H20：20人）

イ さっぽろスポーツキャラバン隊事業（スポーツ部） 6百万円

公園や学校などの身近な場所に出向いてスポーツ講習会等を開催し、市民が気軽にスポーツに親しむきっかけづくりを行う。

【達成目標】

参加人数 H18： - H22：4,000人

【20年度効果】

参加人数 ±0人（H19：4,000人 H20：4,000人）

ウ 地域スポーツクラブ支援事業（スポーツ部） 3百万円【新規】

19年度で終了するモデル事業の成果を踏まえ、市民の主体的な運営による総合型地域スポーツクラブの設立を促進するため、組織作りの支援や運営ノウハウの提供などを行う。

【達成目標】

総合型地域スポーツクラブ設立数 H18：1カ所 H22：5カ所

【20年度効果】

総合型地域スポーツクラブ設立数 +2ヶ所（H19：1カ所 H20：3カ所）

エ ウィンタースポーツ振興事業（スポーツ部） 3百万円

低迷傾向が見られるウィンタースポーツの振興を図るため、学校教育と連携した小中学校でのウィンタースポーツ体験事業の実施や、インターネットを活用したウィンタースポーツ情報提供の充実などを行う。

【達成目標】

ウィンタースポーツをする人の割合 H18：13.0% H22：20.0%

ウィンタースポーツ体験事業数 H18：2事業 H22：20事業

【20年度効果】

ウィンタースポーツをする人の割合 +3.0%（H18：13.0% H20：16.0%）

ウィンタースポーツ体験事業数 +6事業（H19：2事業 H20：8事業）

オ ウィンタースポーツミュージアム体験装置・展示品リニューアル（スポーツ部）

4百万円【新規】

機器の老朽化により更新が必要となっているジャンプシミュレーターなどの体験装置の改修や、展示品の収集・更新を行い、ウィンタースポーツの拠点としての機能の充実化を図る。

【達成目標】

観覧者数 H18：121,946人 H22：133,800人

【20年度効果】

観覧者数 ±0人（H19：120,000人 H20：120,000人）

3 将来を見据えた魅力ある都市の整備

8 百万円 (6 百万円)

注 : () 内は19年度予算額

ア 創成川アートワーク事業【再掲】(文化部)

8 百万円

4 新たな集客交流資源の創出と魅力の発信

1 8 5 百万円 (1 3 0 百万円)

注 : () 内は19年度予算額

ア さっぽろ雪まつり魅力アップ事業(観光部)

3 0 百万円

さっぽろ雪まつり「さとらんど会場」において、市民参加の促進を図るほか、臨時駐車場の設置や循環バスの運行など受入環境の整備を行う。

【達成目標】

参加団体数 H18 : 9団体 H22 : 15団体

雪まつりの満足度 H18 : 57.7% H22 : 70.0%

【20年度効果】

参加団体数 +4団体 (H18 : 9団体 H20 : 13団体)

雪まつりの満足度 +6.2% (H18 : 57.7% H20 : 63.9%)

イ さっぽろライラックまつり魅力アップ事業(観光部)

4 百万円

さっぽろライラックまつりにおいて、市民参加による音楽祭を実施するほか、中国の大連市で行われているアカシア祭りとの相互交流を図る。

【達成目標】

観客数 H18 : 346,700人 H22 : 500,000人

【20年度効果】

観客数 +59,850人 (H19 : 363,500人 H20 : 423,350人)

ウ 藻岩山魅力アップ事業(観光部)

4 2 百万円

「藻岩山魅力アップ構想」に基づき、施設の再整備に向けた基本設計等を行う

ほか、「藻岩山の日」などのソフト事業に対する支援を行う。

【達成目標】

藻岩山の再整備 H18： - H22：整備

エ 定山溪観光客誘致関連補助（観光部） 3百万円

定山溪温泉地域の観光活性化に向けた自主的なまちづくり活動や、地域の魅力向上、来客誘致促進などの事業に対する補助を行う。

【達成目標】

定山溪の来客数 H18：2,435,000人 H22：2,584,000人

定山溪の来客の満足度 H18：82.6% H22：85.0%

【20年度効果】

定山溪の来客数 +74,000人（H18：2,435,000人 H20：2,509,000人）

定山溪の来客の満足度 +1.2%（H18：82.6% H20：83.8%）

オ 新たな秋のイベント事業（観光部） 30百万円

大型イベントの少ない秋の集客増を図るため、大通公園において「秋の豊穰祭」をテーマとした新たな集客イベントを実施する。

【達成目標】

観客数 H18： - H22：800,000人

【20年度効果】

観客数 +270,000人（H19： - H20：270,000人）

カ 大通公園スケーティング・スクエア事業（観光部） 20百万円

冬の大通公園の新たな魅力づくりとして、大通公園西1丁目にスケートリンクを設置し、市民や観光客が気軽にスケートを体験できる機会を提供する。

【達成目標】

利用者数 H18： - H22：10,000人

【20年度効果】

利用者数 +5,000人（H19： - H20：5,000人）

キ 平岡公園梅林ライトアップ事業（観光部） 7百万円

平岡公園の梅林において、梅の開花時期に合わせた夜間ライトアップを実施するとともに、道内外に向けたPRを行う。

【達成目標】

梅開花時期の夜間入園者数 H18： - H22：17,600人

【20年度効果】

梅開花時期の夜間入園者数 +1,995人 (H19：14,335人 H20：16,330人)

ク 観光都市さっぽろ推進事業 (観光部) 29百万円

「来客受入強化」、「個人客対応充実」、「魅力づくり発信」、「コンベンション」の各プロジェクトを展開することにより集客交流の促進を図る。

【達成目標】

外国人観光客のリピーター率 H18：25.4% H22：30.0%

札幌観光の満足度 (おもてなし) H18：69.5% H22：75.0%

コンベンションの開催件数 H18：911件 H22：1,050件

【20年度効果】

外国人観光客のリピーター率 +2.4% (H18：25.4% H20：27.8%)

札幌観光の満足度 (おもてなし) +2.8% (H18：69.5% H20：72.3%)

コンベンションの開催件数 +70件 (H18：911件 H20：981件)

ケ ターゲット別国内観光プロモーション事業 (観光部) 7百万円

首都圏等において、旅行会社の商品企画担当者を対象とした観光セミナーを開催するほか、一般市民を対象とした「さっぽろスイーツ」のPR等を行う。

【達成目標】

道外観光客の来客数 H18：6,398,000人 H22：6,791,000人

スイーツを楽しみにした観光客の割合 H18：24.2% H22：35.0%

【20年度効果】

道外観光客の来客数 +193,000人 (H18：6,398,000人 H20：6,591,000人)

スイーツを楽しみにした観光客の割合 +5.4% (H18：24.2% H20：29.6%)

コ 国際観光促進事業 (観光部) 9百万円

観光客の増加が見込まれる東アジアやオセアニアなどを対象として、メディアを活用したイメージ発信や旅行商品開発支援などの誘致宣伝事業を行う。

【達成目標】

外国人延べ宿泊者数 H18：559,272人 H22：700,000人

【20年度効果】

外国人延べ宿泊者数 +70,728人 (H18：559,272人 H20：630,000人)

サ 仮称)札幌広域ドライブルートマップ作成事業(観光部) 4百万円【新規】

観光客のレンタカー利用の増加に対応して、札幌を基点とした車での日帰り圏内のドライブルートマップをエリアごとに作成配布する。

【達成目標】

参画施設の入場者数の伸び率 H18 : - H22 : 1.5%

【20年度効果】

参画施設の入場者数の伸び率 +0.75% (H19 : - H20 : 0.75%)

4 事務事業の見直し等

(1) 事務事業の見直し

内部効率

一般事務費の節減	<見直し額 4百万円>
写真ライブラリー展覧会事業費補助金の見直し	<見直し額 1百万円>
藤野野外スポーツ交流施設の指定管理者の公募化	<見直し額 6百万円>
総合型地域スポーツクラブモデル事業の終了	<見直し額 3百万円>